

## 2. 水害・土砂災害対策等の現状の課題及び当面の進め方

### (1) 沖縄本島北部圏域

#### ①最近の出水及び被害状況

これまでの河川整備に伴い、過去の被害と比べて浸水家屋は減少していますが、近年でも局所的な豪雨によって未整備箇所等において浸水被害が発生しています。

#### 過去の主な浸水被害

水系名	河川名	災害年月	災害原因	浸水被害 (戸)	最大1時間 降水量(mm)	市町村	整備状況	完了年度
羽地大川	羽地大川	昭和59年8月	台風10号	12	47	名護市	整備済	平成14年
		平成6年5月	豪雨	7	29	名護市	整備済	平成14年
幸地川	幸地川	昭和44年10月	台風12号	1,230	不明	名護市	整備済	平成16年
汀間川	汀間川	昭和44年10月	台風12号	255	不明	名護市	整備済	平成15年
		平成10年7月	豪雨	4	60	名護市	整備済	平成15年
比地川	比地川・宇良川	昭和41年5月	豪雨	151	不明	国頭村	中断	—
比地川	比地川・奥間川	平成7年6月	豪雨	10	77	国頭村	中断	—
満名川	満名川	昭和44年10月	台風12号	543	不明	本部町	整備中	—
		平成24年9月16日	台風16号	328	36	本部町	整備中	—
		令和5年8月5日	台風6号	2	24	本部町	整備中	—
我部降祖河川	我部降祖河川	昭和59年8月	台風10号	22	47	名護市	整備中	—
		平成12年7月	豪雨	7	60	名護市	整備中	—
真喜屋大川	真喜屋大川	平成10年10月	豪雨	8	76	名護市	整備中	—
屋部川	屋部川	昭和44年10月	台風12号	435	不明	名護市	整備中	—
		平成10年10月	豪雨	5	76	名護市	整備中	—
屋部川	屋部川・西屋部川	平成11年9月	台風18号	17	38	名護市	整備中	—
屋部川	西屋部川	平成10年10月	豪雨	17	76	名護市	整備中	—
		平成11年4月	豪雨	4	36	名護市	整備中	—
		平成19年8月	豪雨	42	63	名護市	整備中	—
大井川	大井川	平成19年8月	豪雨	214	45	今帰仁村	整備中	—
億首川	億首川	平成12年11月	豪雨	2	85	金武町	整備中	—
有銘川	有銘川	平成24年9月16日	台風16号	30	61	東村	整備中	—
大保川	大保川	平成24年9月29日	台風17号	31	15	大宜味村	整備中	—

- ・ 満名川浸水状況（令和5年8月）  
（本部町「開洋橋」付近）

- ・ 有銘川河川氾濫状況（平成24年9月）  
（下流付近）



## ②土砂災害等

近年では、平成14年7月に発生した台風7号により本部町伊豆味地区、また平成30年6月に発生した台風6号により大宜味村田嘉里地区において急傾斜地斜面が崩壊し、土砂災害が発生しました。

### 近年の主な土砂災害

地区名	災害年月日	災害原因	被害状況
本部町東地区	平成10年2月	豪雨	全壊家屋1戸
本部町谷茶地区	平成12年8月	台風8号	一部破損家屋3戸
本部町伊豆味地区	平成14年7月	台風7号	半壊家屋1戸
大宜味村田嘉里地区	平成30年6月	台風6号	一部破損家屋1戸

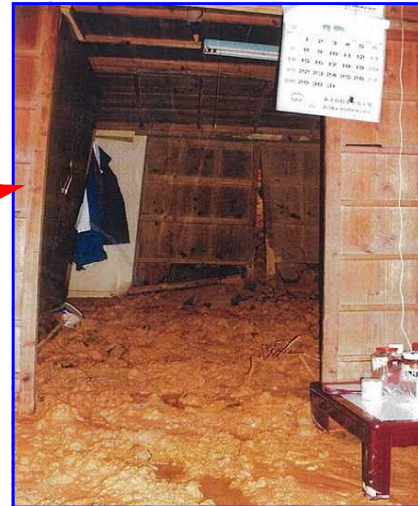
- ・ 土砂崩壊状況（本部町谷茶地区 平成12年8月）



被害状況：家屋2棟の一部破損  
物置1棟全壊  
車庫の一部破損



・土砂崩壊状況（本部町伊豆味地区 平成14年7月）



被害状況：家屋1棟半壊

（大宜味村田嘉里：平成30年6月）



被害状況：家屋1棟に一部崩壊土到達

③水害・土砂災害対策等の課題

・北部圏域の河川については、これまでの整備により、浸水被害が減少していますが、局所的な豪雨等による被害が発生しています。

・当圏域は、要対策土砂災害危険箇所が県全体684箇所のうち306箇所あり、現在までに46箇所の整備を行っていますが、今なお多くの要対策箇所があります。

※要対策土砂災害危険箇所とは、土石流危険渓流（Ⅰ）、急傾斜地崩壊危険箇所（Ⅰ）、地すべり危険箇所のことである。

・当圏域は、沖縄県の中でも重要な自然環境を有する地域を含んでおり、事業実施に当たっては環境との調和を図る必要があります。

・公共事業予算に限りがあるなかで、効果的・効率的な治水及び土砂災害対策を図る必要があります。

## ソフト対策

- ・急速なハード整備が進まない状況のなか、依然として自然災害が毎年のように発生する傾向にあることから、自主避難や避難警報発令等に役立つ情報の提供など人命を保護するためのソフト施策を推進する必要があります。

## ④水害・土砂災害対策等の当面の進め方

- ・自然環境豊かな沖縄本島北部圏域においては、環境の保全と復元に十分配慮しつつ水害・土砂災害対策を引き続き推進します。
- ・西屋部川は、流下能力向上のため市道8号線勝見橋から上流に向けて、多自然川づくりによる河川改修を引き続き実施します。
- ・我部祖河川は、流下能力向上のため、国道58号山田橋から上流に向けて、多自然川づくりによる河川改修を引き続き実施します。
- ・億首川キャンプハンセン内の狭窄箇所については、沖縄防衛局及び米軍と円滑な整備のための協議を行い、早期整備完了に向けて、多自然川づくりによる河川改修を引き続き実施します。
- ・大宜味村の饒波川、小兼久川、名護市の東屋部川、安和与那川の土石流対策及び世富慶地区、二見（4）-2地区の急傾斜地崩壊対策を実施します。  
令和6年度より、金武町の金武浜田原地区の急傾斜地崩壊対策を新規箇所として、予定しております。

## ソフト対策

- ・国管理ダムでは、流域住民の洪水被害等の予防、迅速な避難等を支援する観点から、ダム放流警報施設や電光表示板等の河川管理施設を、市町村が実施する警戒避難等に関する情報伝達提供ツールとして利用を可能とする取り組み（施設の開放）を引き続き推進します。
- ・雨量計及び水位計のデータを管理し、水防管理者に情報提供を行うことで水防活動を引き続き支援します。
- ・北部管内での河川の氾濫や崖崩れ等が起こる可能性を想定し、想定最大規模の降雨による「洪水浸水想定区域図」を作成し、浸水被害がどの範囲まで広がるか情報提供しているところであります。

・市町村が洪水時の円滑かつ迅速な避難を行うため作成する「水害ハザードマップ」の基礎情報として、「洪水浸水想定区域図」を情報提供していきます。

・県と沖縄総合事務局は、NHKとの協働により、平成23年6月からNHKの「データ放送」を通じて主な河川の水位や雨量の状況をリアルタイムで確認できるよう情報提供を行っています。

・河川水位等のデータ取得を10分間隔から1分間隔とすることや、伝送路の二重化による欠測の低減等、河川情報システムの機能強化を引き続き実施します。

・河川情報システムの機能強化として、平成30年4月から流域住民が登録したメールアドレスに自動的に河川水位の到達を配信する機能を追加しています。

・土砂災害からの警戒避難のため「土砂災害警戒区域」及び「土砂災害特別警戒区域」の指定を進めるとともに、2巡目の基礎調査を実施しています。

【令和5年3月末時点】

土砂災害警戒区域：691の予定区域のうち690区域指定済み

土砂災害特別警戒区域：643の予定区域のうち418区域指定済み

## 北部圏域の河川整備の事例

### 奥川

(国頭村「奥ヤンバルの里」付近)

改修前



改修後



## 奥川

改修前



改修後



改修後



## 西屋部川 (名護市「西屋部橋」付近)

改修前



改修後



我部祖河川  
(名護市「山田橋」付近)

改修前



改修後



屋部川  
(名護市「白銀橋」上流付近)

改修前



改修後



北部圏域の急傾斜地崩壊対策、総合流域防災対策の事例

宇茂佐地区

対策前



対策後



## 安和与那川

対策前



対策後



### ⑤主要事業

圏域内の主要事業について示します。

- ・屋部川河川改修事業
- ・安和与那川砂防事業



やぶかわ  
屋部川河川改修事業  
— 名護市 —

1. 概要

屋部川は、名護市の中央部に位置し、名護岳を源に、名護市街地の北西域を流下した後、河口部で支川の西屋部川と合流して名護湾に注ぐ、流路延長6.1km、流域面積20.6km<sup>2</sup>の2級河川である。

平成19年8月の豪雨において、名護市為又地区で大型店舗兼アパートの床下浸水や道路冠水等の被害が発生するなど浸水被害が多発しており、早期に総合流域防災事業による浸水被害軽減を図る。

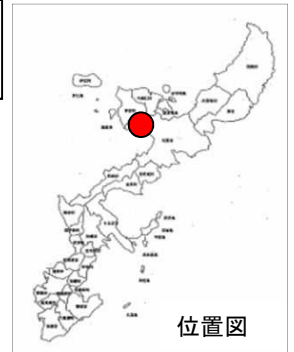
2. 事業内容

- 整備箇所：名護市
- 整備内容：護岸計画 L=3, 250m
- 事業期間：昭和49年度～令和7年度
- 令和5年度事業概要：河床掘削工、磁気探査一式



沖縄県(沖縄振興公共投資交付金)

あわよながわ なごし  
安和与那川砂防事業(沖縄県名護市)



○事業目的

当河川では、平成10年10月の集中豪雨により溪岸が浸食されるとともに、多量の土砂を含む洪水が氾濫し、沿川の集落での床上浸水3件、床下浸水5件や農作物(2.2ha)への多大な被害が発生した。その後も、平成17年、24年、30年と度々同様の被害が発生しているため、既設の砂防ダムから下流において流路工を整備し、溪岸崩壊による土砂発生防止、洪水氾濫の防止を行う。

○箇所概要

流域面積：3.85km<sup>2</sup>、普通河川延長：約2km

○実施内容

保全対象：人家149戸、耕地4.4ha、国道449号

実施内容：流路工L=640m

全体事業費：1,778百万円(H18~R7)

R5年度予算額：74.7百万円(国費：67.2百万円)

R5年度実施内容：流路工L=70m、磁気探査業務等

R4末進捗率(事業費ベース)：79%

①下流での氾濫状況(H10.10)



②下流での氾濫状況(H10.10)



③溪流の荒廃状況



凡例	
■	R3年度以前
■	R4年度実施
■	R4年度補正予算
■	R5年度予算
■	R6年度以降

